



969

講談社現代新書

日本語

をみがく

小辞典

〈形容詞・
副詞篇〉

森田良行

「えぐい」言葉よ

り「まろやか」な

表現で、「けざや

か」に語りたい。

形容詞や副詞を

「ぶりぶり」に使

い「いまやか」な

日本語生活を！



日本語をみがく小辞典〈形容詞・副詞篇〉

一九八九年一〇月二〇日第一刷発行

著者——森田良行

©Yoshiyuki Morita 1989 Printed in Japan

発行者——加藤勝久 発行所——株式会社講談社

東京都文京区音羽二丁目三—三 郵便番号二三—〇二 電話〇三—九五—二二

装幀者——杉浦康平・谷村彰彦

印刷所——凸版印刷株式会社 製本所——株式会社大進堂

ISBN4-06-148969-0 (定価はカバーに表示してあります)

落丁本・乱丁本は、小社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。
なお、この本についてのお問い合わせは、学芸図書第一出版部あてに願います。



日本語をみかく小辞典〈形容詞 副詞篇〉

森田良行

講談社現代新書



● 目次

評価

—— マイナスに傾く……………14

よし／あし／よい／悪い／よろしい／よしなに／よこしま／大それた／ゆゆし
い／いまわしい／いまましい／いとわしい／すばらしい／みごと／すてき／
ひどい／いみじ

賢愚

—— 能力への畏怖と揶揄……………21

賢い／利口／さかしい／こざかしい／さかしら／さとい

愚鈍

—— 知恵をめぐる比喩転用……………25

愚か／間抜け／ふつつか／浅はか／うかつ／うとい／うとましい／かたくな／
おこ／おこがましい

難易・巧拙

—— 自己中心の感情表現……………30

上手／下手／巧み／うまい／つたない／まずい／むづかしい／やさしい／やす
い／にくい／つらい／心もとない／おぼつかない／なおざり／しいて／たつて
／かろうじて／あいにく／やつと／ようやく／からくも／おいそれと／ぎごち

ない

正当

お人好しの便法……

38

嘘／うそ本当／ほんとう実に／まこと／まさしく／まさに／ただ正しい／ちゃんと／げに／あたりまえ

性格

母性にたくす永遠の理想……

42

おっとり／あどけない／がんぜない／たわいない／うぶ／しとやか／あでやか／なまめかしい／おおらか／おとなしい／おく奥ゆかしい／やさし

生活

怠惰な暮らしをいましめる……

49

まめ／こまやか／よんどころない／さもない／いやしい／あさましい／みすばらしい／しがない／のらくら／ぶらぶら／しどけない／あられもない／ふしだら／みだら／はしたない／えげつない／いぎたない／いじきたない

身体

若さと健康への憧れ……

55

つつがない／すこやか／たくましい／弱い／か弱い／いたいけ／いじらしい／わさな幼い／わかうら若い／ふくよか／しなやか

行為

疊語にたくす心の髣髴……

60

うとうと／うつらうつら／ぐうぐう／すやすや／ぐっすり／にこにこ／にやにや／くすくす／おろおろ／すごすご／しおしお／いそいそ／たじたじ／はらはら／ひやひや／さめざめ

思考・態度

——かぎりなく内に秘める心性……

65

つくづく／しみじみ／つらつら／とくと／じつくり／すげない／そっけない／なにげない／さりげない／ぎこちない／あからさま／ぶしつけ／はしたない／水くさい／おぞましい／雄々しい／けなげ／いさぎよい／女々しい

感情

——人間関係のしがらみを超えて……

71

おめおめ／口惜しい／いまいましい／情ない／嘆かわしい／わびしい／つまらない／うれしい／楽しい／面白い／おかしい／誇らしい／晴れがましい／うきうき

愛情

——同情のバリエーション……

75

いとおいしい／かわいい／いとしい／哀れ／いじらしい／いたわしい／いたましい／いたたいけ／悲しい／愛し／切ない／やるせない／恋しい

恐怖・苦悩

——仏教的無常観のもとに……

81

憂し／懶い／つらい／苦しい／煩わしい／悩ましい／こわい／すさまじい／うとましい／おぞましい

羞恥

他人の目から自己を隠す……

86

恥ずかしい／きまり悪い／てれくさい／みつともない／まが悪い／ばつが悪い／面映ゆい／気まずい／あつかましい／ずうずうしい／ふてぶてしい／後ろめたい

人間関係

親疎を測る言葉のものさし……

91

親しい／むつまじい／ねんごろ／人懐っこい／なれなれしい／うとい／うとましい／いとわしい／わずらわしい／つれない／ないがしろ

意識

突然湧き起こる気分を味わう……

95

うつかり／うかうか／うかつ／むぎむぎ／まんまと／うまうまと／はつと／はたと／ふと／あわや／あやうく／くしくも／おのずと／おのずから／知らず知らず／知らぬ間に／いつしか／つい／そぞろ／すすろ／そこはか／心なしか／いたずらに／おぼろ／淡い／微かな／ぼうつと／うつすら／ほのほの／仄か／さだか／ありあり／まざまざ／生き生き／さやか

心理

苦しまぎれの胸の内……

100

やっぱり／てつきり／やはり／なるほど／いかにも／まさか／とても／むげに
／あいにく／なまじ／なまじつか／せめて／どうせ／いつそ／わりない／やむ
ない／よんどころない／よしや／もし／ひよつと／よしんば／たとえ／さぞ

作為

庶民にとってのチャンスと要領……

104

わざと／ことさら／れいれいしい／あからさま／ことごとしい／物々しい／あ
ざとい／どぎつい／おこがましい／さしでがましい／あえて／しいて／むげ／
わざわざ／なるべく／必ず／きつと／できるだけ／ひたすら／いちず／ひたむ
き／取りあえず／せつかく

好悪

幽霊が化けて出る精神風土……

109

好き／好ましい／望ましい／きらい／おぞましい／いまわしい／いまいましい
／いとわしい／あさましい／卑しい／さもない／憎い／恨めしい／羨ましい／
ねたましい／めめしい／雄々しい／潔い／見苦しい／みつともない／醜い

姿

時代とともに国際化の波……

114

麗しい／美しい／かわいい／愛らしい／なまめかしい／あでやか／たおやか／

藕^{ろう}たけた／あだな／あだっばい／はで／けばけばしい／綺麗^{きれい}／いなせ／むくつ
けき／しどけない／あられもない／みすばらしい／じみ

味・匂い

ときには蓋も必要……

118

臭^{くさ}い／こうばしい／かぐわしい／かんばしい／甘い^{あま}／辛い^{から}／塩^{しお}辛い／酸^すっぱい
／苦^{にが}い／淡^{しよ}い／えごい／えぐい／おいしい／うまい／まずい

音

心で聴く大いなるしじま……

123

うるさい／さわがしい／騒^{さうざう}々しい／やかましい／かしましい／かしましい／
賑^{にぎ}やか／ざわざわ／がやがや／どたばた／ひそひそ／静^{しず}かな／静^{しず}けき／ひそや
か／ひっそり／しめやか／ぱらぱら／ざあざあ／しとしと／陣^{しん}々／しんしん

色・明暗

薄墨の景色にたゆたう……

129

赤^{あか}い／黒^{くろ}い／白^{しろ}い／青^{あお}い／明^{あか}るい／暗^{くら}い／まばゆい／まぶしい／ほの暗^{くら}い／ほ
のか／ほのほの／あわい／しらじら／どんより／さやか／鮮^{あざ}やか／くつきり／
こまやか

温度

春夏秋冬の移ろいに遊ぶ……

133

暑^{あつ}い／むし暑^{あつ}い／暑^{あつ}苦しい／肌^{はだ}寒^{さむ}い／うそ寒^{さむ}い／うすら寒^{さむ}い／寒^{さむ}い／暖^{あたた}かい／

冷たい／涼しい／熱い／温かい／ぬるい／なまぬるい／なま暖かい／手ぬるい
／ひやつこい／ひややか／ひんやり／ひやひやと／ぬくい／ぽかぽか／ほかほ
か／さむざむ／うらうら／うららか／のどか／さわやか

触覚

表層から内奥への通底経路……

138

ぬるぬる／ざらざら／ごつごつ／がさがさ／つるつる／すべすべ／かさかさ／
さらさら／べとべと／ねばねば／しっとり／びっしり／びしょびしょ／すべ
っこい

新古

女房と畳の鮮度……

142

あたらし／あらた／あらたし／真新しい／さら／まっさら／ほやほや／ういう
いしい／鮮やか／古い／古くさい／古めかしい

形

正円からの逸脱をとらえる心性……

147

丸い／四角い／まん丸い／平たい／のっぺり／いびつ／ごつい／いかつい／角
張った／すらり／ふつくら／つぶら／まるやか／まどか

大小

スケールをサイズで表す……

152

大きい／広い／小さい／狭い／でかい／でっかい／ばかでかい／ちっこい／ち

つぼけ／でかでか／ちよこんと／ちよこなんと／ちよこちよこ／ちよこまか／
ちんまり／こぢんまり

遅速

同時に気になる時間と速度……

はやい／おそい／素早い／すばしい／はしこい／疾く／すぐ／直ちに／急い
で／早くも／すでに／あわただしい／目まぐるしい／せわしい／せわしない／
あたふた／そそくさ／ゆっくり／ゆったり／ゆるやか／のろい／のろろ／は
かばかしい／のんびり／おもむろに／徐々に

動き

事と時の関係性のはざままで……

おもむろに／ぼつぼつ／そろそろ／やおら／やにわに／いきなり／急に／突然
／不意に／にわかに／たちどころに／だしぬけに／ゆっくり／つと／さつと／
ぴたつと／ぴったり／つと／ひしと／ひしひしと／ひたむき

時

一瞬をよぎる過去・現在・未来……

長らく／間もなく／すぐ／じき／久しい／しばらく／ようやく／やがて／やつ
と／今に／まさに／今／今にも／折から／折あしく／今しがた／さつき／先ほ
ど／かねて／つとに／あらかじめ／前もって／とわに／とこしえに／ひねもす

／夜もすがら／ひぐらし／朝な夕な／日がな一日／夜つびて

頻度

使い分けて時を刻む……

175

たまに／たまさか／ときたま／たまたま／まれ／わくらばに／ときおり／ときどき／たびたび／しばしば／ちよいちよい／ちよくちよく／しきり／たてつづけ／ひっきりなし／絶えず／しよつちゆう／いつも／常に／盛んに／ひとしきり

程度

四季おりおりの情感を伴う認識……

179

めつきり／ひときわ／ひとしお／とみに／がぜん／かなり／なかなか／とても／すこぶる／はなはだ／ひどく／ごく／めつぼう／とてつもなく／途方もない／たいへん／ひどい／法外に／なかなか／いつそ／とても／いとも／こよなく／こちたし／いたく／ほとほと／ほとんど／著しい／めざましい／実に／げに

割合

数値を拒む臚化叙法……

185

だいたい／ほとんど／おおかた／おおよそ／おおむね／あらまし／あらかた／たいてい／たいがい／ほぼ／やや／いくぶん／いささか／少々／少し／ちよつ

と／ささやか／ほんの／さして／たいした／すべて／ことごとく／皆／残らず
／ひとわたり／ひととおり／つぶさに／あまねく／くまなく／洗いざらい／根
こそぎ／おしなべて／こそつて／ほどよい

数量

—— 豊饒への切なる願い……

おびただしい／多い／たくさん／あまた／おおぜい／いっぱい／ぎっしり／豊
か／豊富／ふんだん／なみなみ／たっぷり／どっさり／たんまり／しこたま／
たらふく／たわわ／よろず／ちぢに／少ない／僅か／乏しい／たった／ささや
か／みじん

192

多彩

—— 一木一草を美しく見せる……

なべて／おしなべて／いろいろ／さまざま／とりどり／くさぐさ／まちまち／
ばらばら／ごたごた／ごちゃごちゃ／みだり／むやみ／やたら／あれこれ／何
や彼や／きっちり／きちんと／ちゃんと

197

相互・異同

—— 類似と相違の交錯の中から……

まるで／あたかも／さも／さながら／そっくり／まさしく／全く／いかにも／
そっくり／同じ／等しい／紛らわしい／ふさわしい／似つかわしい／うってつ
け／ぴったり／しっくり／あつらえむき／さかさま／あべこべ／ひっくり返し

201

特異

／ちゃんぽん／かわりばんこ／こもごも／互いに／かたみに／互い違い
稀少価値を見なおす

208

滅多／珍しい／稀／特殊／特別／特に／格別／とりわけ／わけでも／なかんず
く／殊に／やんごとない／よんどころない／めざましい／めばしい／主だった
／主な／ありきたり／ありふれた

否定

仄かなる打消の重畳

213

ない／かまえて／おさおさ／つゆ／ゆめ／ゆめゆめ／ついぞ／よもや／まんざ
ら／あながち／いつこうに／おいそれとは／とんと／まるつきり／ちつとも／
さっぱり

神秘・運命

この世ならざるものへ想いをめぐらす

219

厳か／いかめしい／神々しい／恐れ多い／尊い／貴い／忝ない／もったいない
／気高い／うやうやしい／疑わしい／怪しい／いぶかしい／つまびらか／ゆゆ
しい／あえない／はかない／あつけない／ありがたい／めでたい

あとがき

225

評価

マイナスに傾く

よし／あし／よい／悪い／よろしい／よしなに／よこしま／大それた／ゆゆし
い／いまわしい／いまましい／いとわしい／すばらしい／みごと／すてき／
ひどい／いみじ

『万葉集』の第一巻に、

よき人のよしとよく見てよしと言ひし

芳野よく見よよき人よく見

という天武天皇の作が載っている。この歌の解釈は岩波の『古典文学大系』によれば「昔のよい人がよい所だとよく見て、よいと言った吉野をよく見なさい。よい人よ、よく見なさい」ということだそうだが、それにしても僅か三十一文字の間に七回も「よき」や「よし」が繰り返されているとは、まあよほどの技巧派か、さもなくば凝り屋だったのだろう。

同じ音を五七五、七七の頭にそろえる、修辞学でいういわゆる「頭韻」の代表的な歌である

が、この語呂合わせ的なそれぞれの「よし」の意味を比較してみるとまた面白い。

初めの「よき人」は、昔のすぐれた人、つまり身分や教養のすぐれた上の部じやうに属する人を指すのだが、当時、人や物事の評価を上・中・下の三等級に分けて、その上の部に属する段階を「よし」としたらしい。当然その反対の下げの部を指す語もあつて、これは「あし」だ。

今日、「よしあし」だとか、「よきにつけ、あしきにつけ」あるいは「よかれあしかれ」（よいにしろ悪いにしろ、結局は。事態がどうであれ、つまるところは、の意）といった言葉に受け継がれているのだが、後世この「よし」の子音「S」が落ちて「よい」になり、現在に至っているというわけだ。

だが、当時の「よき人」は大変な賞めほめことばで、特にすぐれた教養の誉高ほまれき人を指したわけで、現在の「いい人」では訳にならない。「私のいい人」など、それだけでも品位が落ちるではないか。一方「あし」は残念ながら「あしからず」（悪く思わないで）などの言い回しに残るのみで、そのままでは現在使われない。代わりに「悪い」が幅をきかせて、下の部は何でも「悪い」ですます。

しかし、この「悪い」はもともと「わるし」で、評価としてはそう極端に悪くはなかったようだ。積極的に「悪い」と断定するときはむしろ「あし」を用い、「わるし」はどちらかとい